

2021年9月16日 全8頁

Indicators Update

2021年8月貿易統計

供給制約により自動車輸出が抑制され輸出数量は2カ月連続で減少

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2021年8月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+26.2%と大幅に増加した。これはコロナショックからの回復途上にあった前年の裏の影響によるもので、季節調整値で見た輸出金額は前月比+0.8%と小幅に増加した。輸出数量は減少した一方、資材価格の高騰による輸出価格の上昇が輸出金額を押し上げた。輸入金額は前年比+44.7%、季節調整値では前月比+4.6%と堅調であった。これを受け、貿易収支は季節調整値で▲2,718億円と前月から赤字幅が拡大した。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲0.5%と2カ月連続で減少した。2カ月連続での減少はコロナショックに見舞われた2020年4-5月以来である。地域別に見ると、米国向け（同▲0.2%）、EU向け（同▲0.5%）、アジア向け（同▲1.0%）のいずれも減少した。
- 先行きの輸出は緩やかな増加基調を辿るとみている。景気回復が続く欧米向けの輸出が全体をけん引するだろう。一方、中国向けは同国の景気に減速の兆しが見られることから、短期的には足踏みするとみている。なお、足元では新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の抑制がサプライチェーンを直撃している。当面は、生産調整によって日本からの自動車関連財の輸出が鈍るリスクに留意が必要だ。

【貿易金額】 資源価格の高騰による輸出価格の上昇で輸出金額は小幅に増加

2021年8月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+26.2%と6カ月連続で増加した（図表1）。大幅な増加はコロナショックからの回復途上にあった前年同月の裏の影響によるものだ。品目別では鉄鋼や半導体等製造装置、自動車の部分品などの資本財・中間財が全体を押し上げた。季節調整値は前月比+0.8%と、世界的な資源価格の高騰による輸出価格の上昇を背景に小幅に増加した。もっとも輸出金額はこのところ増加ペースが鈍っており、最大の輸出先であるアジア圏での新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の抑制などが重石となっている。

輸入金額は前年比+44.7%となった。品目別では原油及び粗油や液化天然ガスなどのエネルギー関連財のほか、新型コロナウイルスワクチンの輸入増を背景に医薬品が全体を押し上げた。季節調整値で見ても、前月比+4.6%と堅調に推移している。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入数量（大和総研による季節調整値）は同+5.3%と大きく増加した一方、輸入価格（同）は同▲0.7%となった。輸入価格はこのところ上昇が続いていたが、8月はその動きが一服した。輸出の増加ペースの鈍化と堅調な輸入を背景に、貿易収支は季節調整値で▲2,718億円と前月から赤字幅が拡大した。

図表1：貿易統計の概況

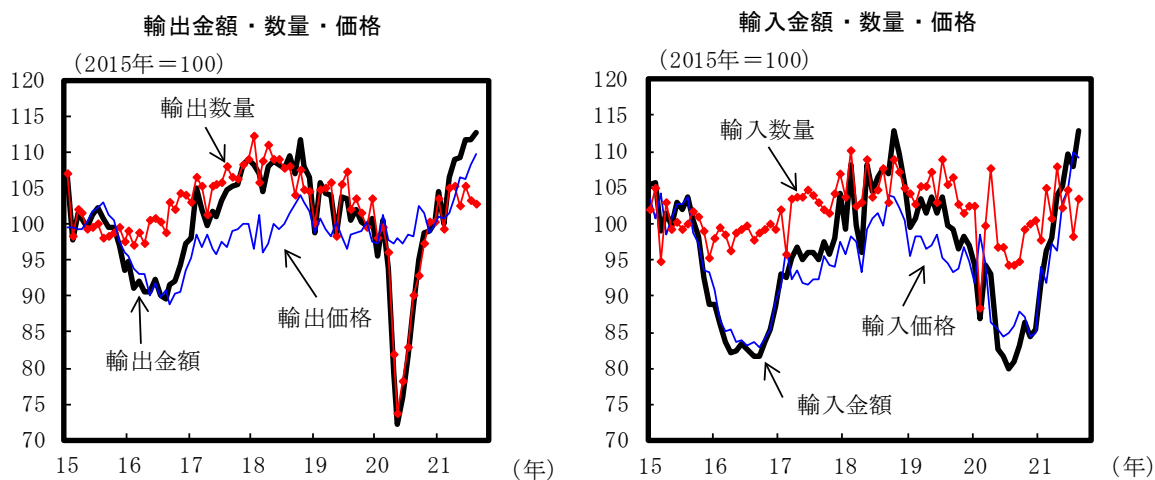
		2020年		2021年						
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
原系列 前年比 %	輸出金額	2.0	6.4	▲4.5	16.1	38.0	49.6	48.6	37.0	26.2
	コンセンサス									34.1
	DIRエコノミスト予想									35.8
	輸入金額	▲11.5	▲9.4	11.9	5.8	12.9	28.0	32.8	28.5	44.7
	輸出数量	▲0.1	5.3	▲4.3	12.6	28.4	38.5	37.2	25.2	13.7
	価格	2.1	1.0	▲0.1	3.1	7.4	8.0	8.3	9.5	11.1
	輸入数量	▲2.0	▲4.1	22.0	3.9	1.2	6.9	8.2	2.1	14.4
価格	▲9.7	▲5.5	▲8.3	1.9	11.5	19.7	22.7	25.9	26.4	
	貿易収支(億円)	7,447	▲3,272	2,117	6,578	2,488	▲1,934	3,789	4,394	▲6,354
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	1.3	4.3	▲4.3	6.5	2.4	0.1	2.4	▲0.0	0.8
	数量	0.0	3.4	▲4.2	5.7	0.2	▲2.6	2.7	▲1.9	▲0.5
	価格	1.3	0.9	▲0.2	0.7	2.2	2.8	▲0.3	1.9	1.3
	輸入金額	1.0	7.7	4.8	1.9	5.9	1.4	4.1	▲1.4	4.6
	数量	0.5	▲2.7	7.4	▲4.0	7.0	▲5.3	2.4	▲6.1	5.3
	価格	0.5	10.8	▲2.4	6.2	▲1.1	7.0	1.6	5.0	▲0.7
		貿易収支(億円)	7,501	5,889	131	3,060	896	48	▲1,092	▲59
	税関長公示レート	104.11	103.57	104.50	107.13	109.56	108.80	109.50	110.55	109.89

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

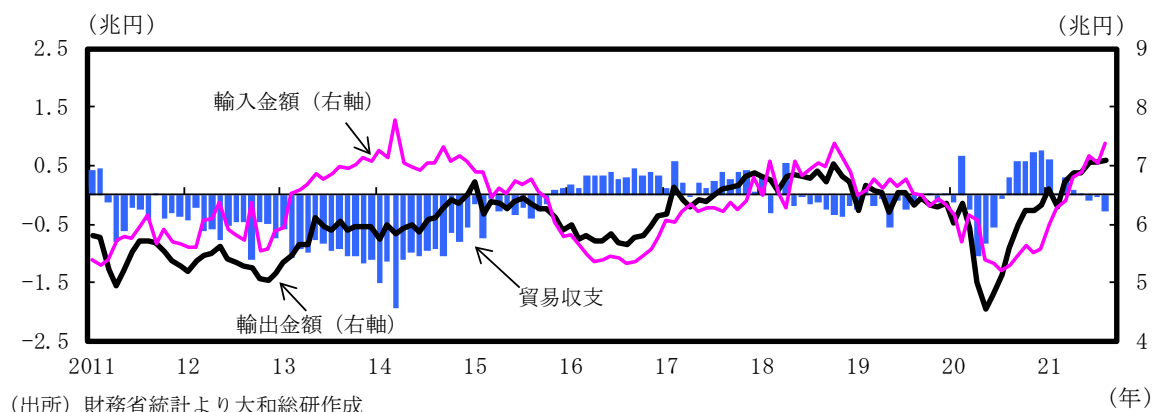
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格 (季節調整値)



図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支 (季節調整値)



【輸出数量】自動車などの供給制約により輸出数量は全地域向けで減少

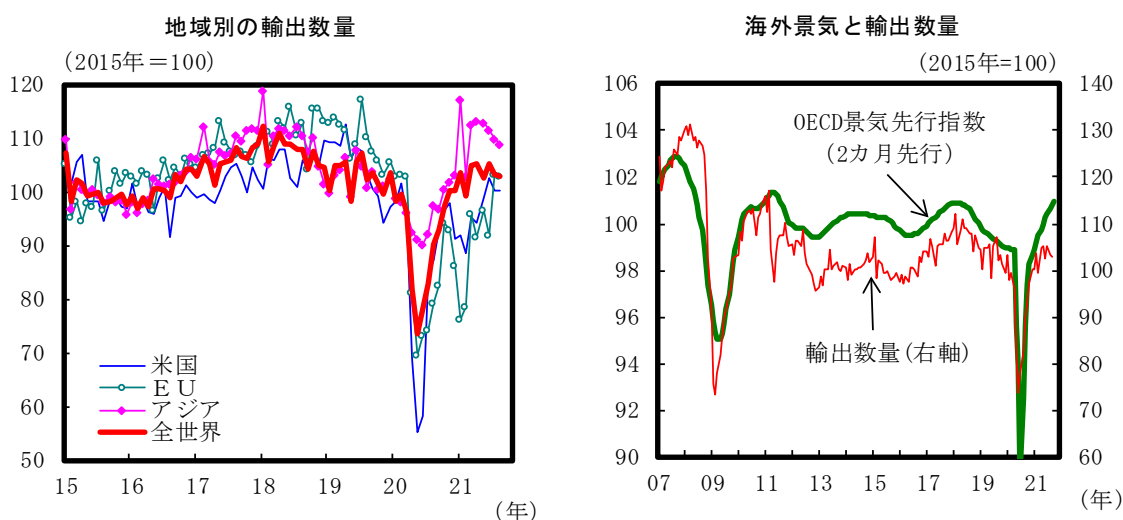
8月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲0.5%と2カ月連続で減少した。2カ月連続での減少はコロナショックに見舞われた2020年4-5月以来である。地域別に見ると、米国向け（同▲0.2%）、EU向け（同▲0.5%）、アジア向け（同▲1.0%）のいずれも減少した。

米国向けは小幅ながら2カ月連続で減少した。内訳を見ると、自動車が大きく減少しコロナショック以来の低水準となった。自動車部品の主要な調達先であるベトナムの一部都市で7月上旬からロックダウン（都市封鎖）が実施されていたため、8月は部品不足による日本国内での自動車生産の停滞の影響が全面的に表れたとみられる。他方、自動車のエンジンを含む原動機や自動車の部分品などの中間財輸出が全体を下支えした。このところの自動車部品の在庫積み増しの傾向が継続しているとみられる。

EU向けは2カ月ぶりに減少した。7月は経済活動の再開を背景に大幅な回復が見られたが、8月は供給制約や前月からの反動を背景に伸び悩んだ格好だ。とりわけ電算機類の部分品が全体を押し下げており、世界的な半導体不足がボトルネックとなっているとみられる。またこのところ減少が続いていた自動車は挽回輸出が見られず、依然としてコロナショック前を大きく下回る水準で推移している。他方、半導体への根強い需要を背景に半導体等製造装置が増加した。また鉄鋼も高水準を維持しており、米国向けと同様に資本財や中間財が下支えした。

アジア向けは4カ月連続で減少した。水準で見れば依然として高いものの、アジア圏において感染が拡大したことによって一部地域で経済活動が抑制されていることや、中国の景気拡大ペースの鈍化が減速の背景とみられる。品目別では、中国向けを中心に自動車や鉄鋼、半導体等製造装置などが減少した。とりわけ鉄鋼の減少は、中国当局による不動産開発投資への引き締め策がインフラ投資需要を抑制していることが背景にあるとみられる。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はOECD諸国とBRICsなど非加盟6カ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】欧州向けを中心に緩やかな増加基調が継続

先行きの輸出は緩やかな増加基調を辿るとみている。景気回復が続く欧米向けの輸出が全体をけん引するだろう。一方、中国向けは同国の景気に減速の兆しが見られることから、短期的には足踏みするとみている。

地域別に見ると、米国向けは増加基調を辿る一方、そのペースは徐々に鈍化していくとみられる。米国の4-6月期の実質GDP成長率は前期比年率+6.6%と高成長を維持した。他方、景気は急回復から緩やかな拡大局面へと変わりつつあるとみられる。今後は個人消費の減速を背景に日本からの最終財輸出の増加ペースは鈍化が予想される。

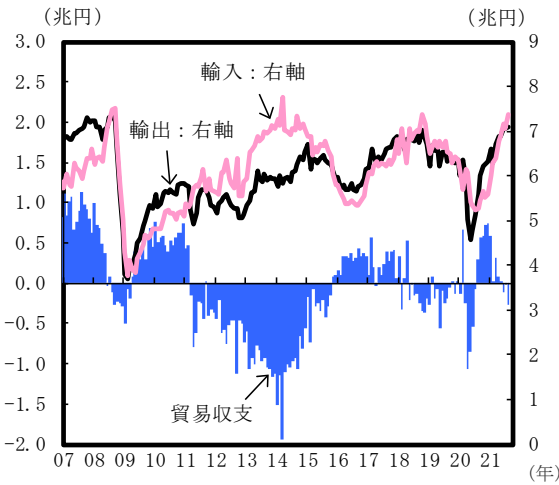
欧州向けは増加が続くとみている。EUや英国の4-6月期の実質GDP成長率はいずれも市場コンセンサスを上回り、ワクチン接種の進展や経済活動の正常化を反映した力強い内容であった。また8月末には、成人の7割が必要な回数のワクチン接種を完了するというEUの目標が達成された。EU経済はコロナ禍前の水準と比較すると依然として回復の余地があることから、当面はワクチンの普及に伴う内需の回復によって日本からの輸出も持ち直しが続くだろう。

中国向けは短期的には足踏みするとみている。中国政府による不動産開発投資への引き締め策がインフラ投資需要を抑制しており、日本からの部材調達が鈍る要因となろう。また中国の小売売上高などの伸び率は低下が続いており、景気減速の兆しが見られることから、同国向け輸出は伸び悩む公算が大きい。ただし、中期的には世界経済の回復に伴い中国国内での生産活動が活発化することで、同国向けの中間財や資本財輸出が一定程度下支えされるとみている。

なお、足元では世界各国での新型コロナウイルスデルタ株の流行による経済活動の抑制がサプライチェーンを直撃し、日本からの輸出の抑制要因となっている。とりわけ東南アジアでの感染拡大によって現地からの自動車部品の調達が滞っており、足元ではトヨタ自動車は2021年度の生産台数の見通しを930万台から900万台程度に引き下げた。国内工場に加えて国外工場でも減産規模が拡大されることから、完成車のみならず海外での現地生産に用いる自動車関連財（エンジンを含む原動機や自動車の部分品など）の輸出も減少する可能性には留意が必要だ。

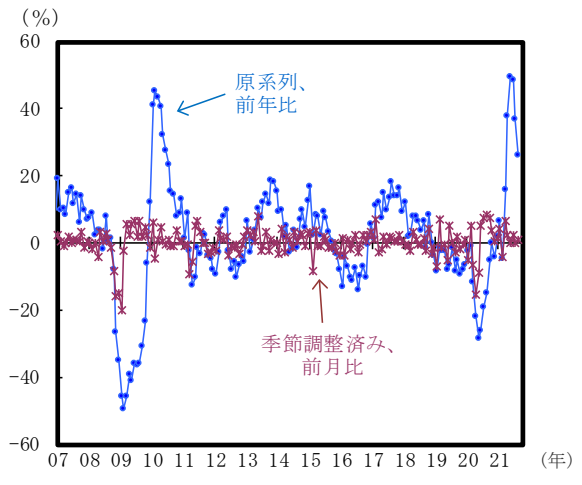
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

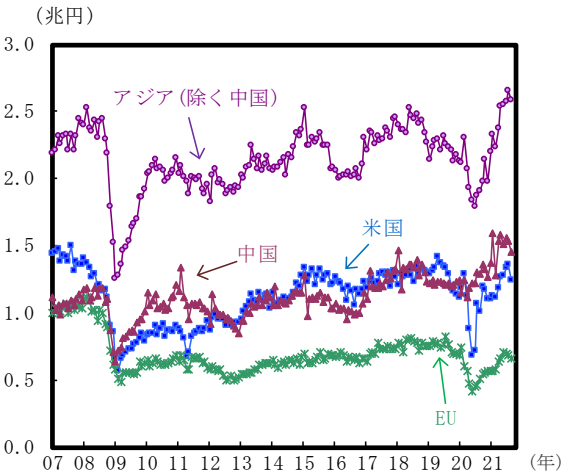


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

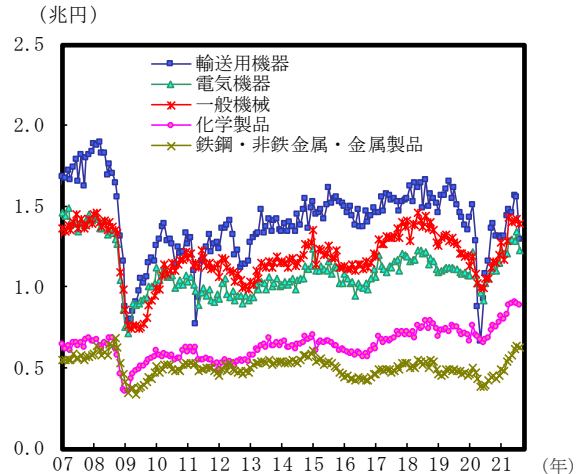


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

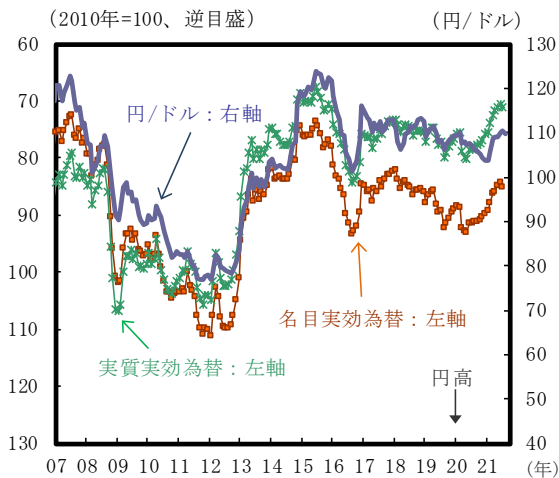


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

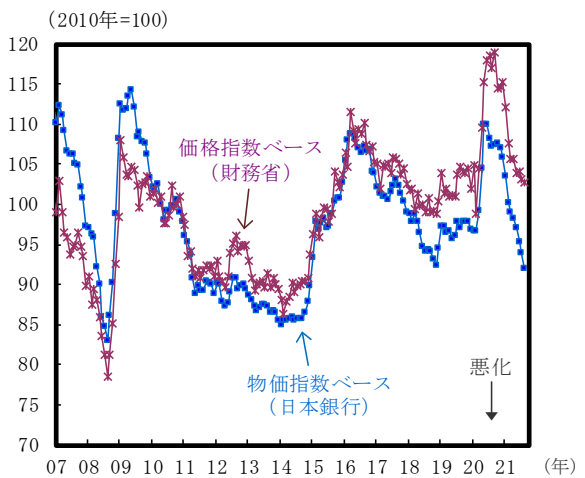


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	16.1	38.0	49.6	48.6	37.0	26.2	100.0	26.2
食料品	40.0	37.3	29.9	22.7	25.6	29.2	1.3	0.4
原料品	48.9	75.3	105.4	84.9	50.4	48.9	1.7	0.7
鉱物性燃料	▲17.9	▲4.7	12.5	7.7	133.2	153.5	1.4	1.1
化学製品	18.5	28.5	32.6	39.5	33.1	28.5	12.9	3.6
原料別製品	13.1	27.4	45.7	56.6	55.1	43.6	12.8	4.9
鉄鋼	1.5	20.6	43.5	73.0	88.3	83.6	5.3	3.0
非鉄金属	38.9	48.5	63.7	45.2	31.5	13.3	2.6	0.4
金属製品	19.0	30.4	46.2	60.1	50.0	29.1	1.5	0.4
一般機械	18.7	40.2	40.5	42.0	35.8	31.8	19.7	6.0
電気機器	12.7	25.6	32.9	39.9	30.9	17.1	18.7	3.4
半導体等電子部品	9.8	11.4	12.7	24.7	27.8	14.9	6.2	1.0
I C	4.7	6.4	6.5	14.2	24.4	12.7	4.3	0.6
映像機器	39.0	69.9	114.7	64.4	14.6			
映像記録・再生機器	63.3	66.3	96.6	74.8	17.6	14.4	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	0.5	82.2	26.9	80.0	137.0	25.5	0.3	0.1
電気回路等の機器	17.9	22.6	40.1	47.9	33.4	25.4	2.6	0.7
輸送用機器	11.9	69.4	118.9	68.1	44.8	11.5	17.5	2.3
自動車	11.2	88.9	135.5	102.8	43.5	4.0	11.0	0.5
自動車の部分品	14.9	68.6	139.2	114.8	60.1	28.7	4.2	1.2
その他	23.4	32.9	43.2	47.5	21.9	27.7	14.2	3.9
科学光学機器	17.0	20.1	36.4	26.1	19.8	21.6	2.8	0.6

米国向け輸出金額 内訳								
	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	4.8	45.1	87.9	85.7	26.8	22.8	100.0	22.8
食料品	26.4	60.2	128.2	115.4	51.9	66.0	1.1	0.6
原料品	4.3	19.9	143.8	110.2	21.8	60.5	0.8	0.4
鉱物性燃料	▲87.1	▲53.2	▲65.1	▲33.1	32.3	595.0	1.1	1.2
化学製品	▲3.7	15.8	▲1.6	22.5	39.5	55.0	7.7	3.4
原料別製品	1.8	14.8	57.0	85.4	51.9	44.2	6.8	2.6
鉄鋼	▲13.0	▲0.2	50.4	145.3	35.0	48.6	1.1	0.4
非鉄金属	5.4	9.4	62.7	5.9	75.7	52.4	0.7	0.3
金属製品	3.4	31.4	77.2	112.7	43.1	26.0	1.7	0.4
一般機械	9.3	24.4	65.8	80.3	47.8	54.2	25.2	10.9
電気機器	4.4	43.0	99.4	79.8	35.5	23.6	15.2	3.6
半導体等電子部品	9.3	21.8	62.6	76.0	51.4	37.4	1.7	0.6
I C	16.7	19.5	77.8	47.7	32.4	21.0	0.7	0.1
映像機器	▲4.7	64.8	164.5	89.9	3.0			
映像記録・再生機器	11.7	62.2	158.4	124.8	25.1	41.1	0.7	0.2
音響・映像機器の部分品	▲16.1	166.6	144.2	74.4	659.1	168.6	0.4	0.3
電気回路等の機器	18.3	36.0	104.5	65.4	25.6	20.6	1.5	0.3
輸送用機器	1.7	106.5	225.0	129.5	11.2	▲8.3	29.1	▲3.2
自動車	8.3	117.6	244.6	144.3	10.7	▲12.4	21.4	▲3.7
自動車の部分品	1.6	78.3	295.5	179.9	45.1	29.8	6.0	1.7
その他	16.4	32.3	68.5	68.3	16.3	28.7	12.9	3.5
科学光学機器	17.5	50.6	58.4	38.1	36.3	42.4	2.9	1.0

EU向け輸出金額 内訳								
	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	12.8	39.5	69.6	51.1	46.1	29.9	100.0	29.9
食料品	25.8	79.9	115.3	92.5	87.7	78.7	0.8	0.4
原料品	23.5	7.2	100.9	52.6	42.4	31.6	1.0	0.3
鉱物性燃料	▲68.4	▲82.9	300.0	119.1	95.8	30.6	0.4	0.1
化学製品	14.1	23.8	37.8	46.3	30.7	25.3	12.1	3.2
原料別製品	27.4	37.9	81.4	84.2	94.0	111.5	10.0	6.8
鉄鋼	112.6	40.6	158.8	173.7	445.8	495.4	3.9	4.2
非鉄金属	35.4	39.4	55.2	80.5	36.5	77.3	1.0	0.5
金属製品	22.3	45.5	76.4	74.0	42.7	46.7	1.6	0.6
一般機械	18.2	34.4	70.4	65.7	51.2	47.3	23.5	9.8
電気機器	14.4	45.1	52.8	52.5	40.4	22.9	18.4	4.5
半導体等電子部品	17.6	37.8	45.7	41.0	47.8	25.5	2.4	0.6
I C	25.6	43.9	48.7	20.5	39.5	26.5	1.0	0.3
映像機器	73.0	138.0	154.3	78.8	22.2			
映像記録・再生機器	104.5	154.0	137.7	81.2	31.1	1.6	0.4	0.0
音響・映像機器の部分品	22.6	18.0	70.4	69.2	75.2	5.3	0.2	0.0
電気回路等の機器	23.5	29.2	71.6	71.5	73.5	63.2	1.8	0.9
輸送用機器	4.0	73.8	112.4	40.1	41.2	3.1	19.7	0.8
自動車	6.1	70.3	46.7	14.8	9.6	▲18.3	9.7	▲2.8
自動車の部分品	14.6	117.9	287.3	206.7	73.7	17.9	6.6	1.3
その他	13.6	27.6	69.8	33.5	44.6	27.9	14.1	4.0
科学光学機器	22.5	51.3	70.5	31.5	54.3	32.1	3.8	1.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	22.4	32.7	32.5	37.1	32.5	26.1	100.0	26.1
食料品	46.5	30.4	12.9	6.9	18.6	18.8	1.5	0.3
原料品	65.2	91.7	101.8	86.2	52.4	46.7	2.3	0.9
鉱物性燃料	9.1	36.1	52.6	10.6	126.2	32.0	0.9	0.3
化学製品	23.0	32.8	38.0	44.0	33.7	29.0	16.5	4.7
原料別製品	18.5	30.2	42.3	49.8	55.6	42.1	15.3	5.7
鉄鋼	6.3	25.4	44.2	67.0	90.0	83.1	6.5	3.7
非鉄金属	42.7	47.7	58.7	45.1	35.7	18.5	3.9	0.8
金属製品	26.0	28.6	34.3	42.2	49.4	23.5	1.5	0.4
一般機械	22.9	47.2	25.3	25.6	26.8	20.6	18.5	4.0
電気機器	14.7	16.9	18.5	30.3	27.6	15.4	22.5	3.8
半導体等電子部品	9.3	9.7	9.1	21.5	25.9	13.2	9.6	1.4
IC	3.6	5.0	3.8	12.8	23.7	11.9	6.9	0.9
映像機器	82.2	40.4	63.2	37.3	5.6			
映像記録・再生機器	96.0	39.9	52.9	47.0	6.1	2.8	0.2	0.0
音響・映像機器の部分品	0.6	74.4	10.1	72.5	74.4	4.3	0.3	0.0
電気回路等の機器	17.7	17.5	28.8	41.8	30.7	22.1	3.4	0.8
輸送用機器	21.5	46.5	59.4	40.3	32.6	16.2	6.6	1.2
自動車	16.7	77.9	68.9	52.6	30.8	9.3	3.3	0.4
自動車の部分品	25.9	34.2	57.2	64.0	59.9	25.4	2.7	0.7
その他	30.7	27.9	30.3	41.5	21.9	35.8	15.7	5.2
科学光学機器	16.2	8.4	24.8	20.3	9.9	15.5	3.1	0.5

中国向け輸出金額 内訳								
	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	37.2	33.8	23.6	27.7	18.9	12.6	100.0	12.6
食料品	55.4	45.0	20.1	35.1	73.8	72.8	1.2	0.6
原料品	145.8	137.6	125.0	141.5	53.5	39.0	1.9	0.6
鉱物性燃料	37.9	7.4	▲13.4	▲33.4	▲6.7	▲23.3	0.5	▲0.2
化学製品	37.8	28.1	23.4	27.9	20.3	25.4	18.3	4.2
原料別製品	40.5	37.5	23.6	20.2	19.1	8.9	12.7	1.2
鉄鋼	24.4	50.4	29.3	20.6	23.6	5.9	3.6	0.2
非鉄金属	73.1	46.4	28.3	15.4	8.0	6.3	4.2	0.3
金属製品	47.8	34.1	14.4	27.2	34.8	10.3	1.6	0.2
一般機械	38.1	56.5	25.2	25.7	13.5	5.6	21.5	1.3
電気機器	22.1	13.3	11.2	24.4	24.5	15.0	22.2	3.3
半導体等電子部品	▲5.1	▲10.2	▲8.5	2.8	19.7	11.2	7.3	0.8
IC	▲15.7	▲23.6	▲20.7	▲12.7	15.3	10.6	5.2	0.6
映像機器	106.5	20.8	26.7	2.8	▲9.1			
映像記録・再生機器	132.9	15.1	23.8	6.5	▲8.6	▲6.9	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲2.0	48.4	▲5.7	57.0	99.3	▲20.0	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	39.3	18.2	22.2	28.8	16.8	16.8	3.6	0.6
輸送用機器	39.2	52.4	30.8	15.2	13.4	▲5.5	8.2	▲0.5
自動車	35.7	80.1	42.9	17.6	13.6	▲11.2	4.2	▲0.6
自動車の部分品	48.1	20.7	15.3	8.6	13.1	2.1	3.8	0.1
その他	41.6	15.2	29.1	48.7	16.4	17.3	13.7	2.3
科学光学機器	4.8	▲5.2	15.4	20.5	2.5	1.3	4.1	0.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成